



碧南ロータリークラブ週報

第2207回例会 平成16年1月14日(水) 晴.最高4℃.最低0℃

●会長 加藤 良邦 ●幹事 竹中 義雄 ●SAA 杉浦 成人
 ■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール
 ■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp
 ■会報委員 竹下 豊・新美惣英・鶴田光久・杉浦昌裕

2003~2004年度
国際ロータリーのテーマ

手を貸そう



Lend a Hand

● 齊唱

ロータリーソング「我らの生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

会長挨拶



ベネファクター認証状 杉浦健次君

皆さん今日は。このところ寒さが非常に厳しくなってきました。どうかお身体に気を付けて頂きたいと思います。過日、「警察始め式」の案内を頂きましたが、あいにく私は都合が悪く出席できませんでしたので、竹中幹事に出席して頂き、感謝状を頂きました。それから、メンバーでもある商工会議所の永坂会頭のお見舞いに竹中幹事と行きました。永坂会頭は非常にお元気そうでしたが、過日、自分を見舞いに来て励ましてくれた稻生さんが亡くなられたことを知り、非常に驚かれたと言ってみえました。諸行無常という事でしょうか。

お正月、皆さんはいろんな形で神社仏閣にご参拝されたと思います。そして今年1年を占うという事で「おみくじ」を引かれた方もお見えになると思います。私のお寺も元三大師の「おみくじ」を扱っております。元三大師とは、天台宗比叡山第18代座主であられた良源上人のことで、元月の三日に亡くなられたことから後に付けられた呼び名ですが、降魔調伏、惡魔退散という神通力を得たご上人で、おみくじの元を作られたと言われています。

以前、私の寺では、勤めて頂いて今年で53年目になります方が、木板に墨を薄く塗り、一枚一枚手作業で「おみくじ」を黙々と刷っていました。今日は何番から何番までということで、木版にB5サイズ程の紙を当て、頭の油をちょちょっと塗って、丸い竹の皮でぴゅっと上を撫でます。そうすると、絵と漢詩と和歌とその意味が難解な文章で書いてある「おみくじ」が綺麗に浮かび出でます。昔はこの難解な「おみくじ」を熟知してみえた半田の方に毎月三日お寺に来て頂き、参拝客に面白可笑しくその解説をしてもらっていましたが、その方も亡くなられ、私が住職になってからは、これでは困るということで、今では、わかり易い文章になった現代版の元三大師の「おみくじ」を京都の専門業者から取り寄せています。漢詩はそのままの形で残っていますが、解説文には、屋づくり良し、嫁取り良し、金運良し、待人きたらず、争い事勝つべし、売り買い悪し、病気長引く、という形で単純明快に書いてあります。普段でも、家を建てる時期はどうかとか、息子の縁談相手はどうかとか、病気が治るかどうか等、「おみくじ」を引きに来られる方がみえますが、メインは毎月三日と正月三が日でございます。今日はお正月にちなんで「おみくじ」の話をさせていただきました。

ありがとうございました。

幹事報告

例会の変更につきましてはお手元の資料のとおりでございます

1月7日の第7回理事会報告

- ・12月の収支は原案どおり承認
- ・第35回新春防火凧揚げ大会の協賛金3万円を承認
- ・第31回碧南市民駅伝大会及び第21回健康ジョギング大会の後援負担金として3万円を承認
- ・アイシン精機新川工場長 那波宏志様の入会を承認

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 75名（内出席免除者 14名）出席者64名	
出席対象者 54／61名	出席率 88.52%
欠席者11名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 長田銘司君 碧南警察署長より感謝状を頂きました。
木村徳雄君 碧南警察署長より感謝状を頂きました。
杉浦昇一君 碧南警察署長より感謝状を頂きました。
杉浦健次君 碧南警察署長より感謝状を頂きました。
杉浦勝典君 碧南警察署長より感謝状を頂きました。
鈴木並生君 碧南警察署長より感謝状を頂きました。
新美 孝君 碧南警察署長より感謝状を頂きました。
三嶋 正君 碧南警察署長より感謝状を頂きました。
森田英治君 碧南警察署長より感謝状を頂きました。
樅山善久君 恥ずかしながら、中部新報に載ってしまいました。
青木 稔君 卓話の時間を45周年の記念行事の計画発表のために使わせていただきます。発表内容につきご理解とご協力を。
黒田昌司君 12月RCゴルフ例会で、2人繰り上げで優勝させていただきました。加藤先生、木村君に感謝。
杉浦成人君 吉井先生にお世話をなりました。

早退2件 合計 31,000円

クラブフォーラム

「45周年について」

[実行委員長] 永井 一君

今日は今青木さんからお話がありましたように、45周年実行委員会から報告させていただきます。ご承知のように今年の3月21日日曜日に当クラブの満45周年の創立記念行事を行うことになっております。それに対する実行委員会の各委員の方が半年の間たいへんご尽力をいただき、また会員の皆様のご支援をいただきまして、ようやくここに来まして準備と申しますが、計画が大体まとまりましたので、それを皆さんにご報告しまして、皆さんのご承認を得ましたならば、早速それを実行に移したいと思っております。そういう事でこれから各委員長さんにそれぞ

れの内容を報告させていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

[総務委員長] 植松 敏樹君

創立45周年記念式典にあたりまして、当初永井実行委員長、栗津副実行委員長の基本方針が、派手にしないで手作りでよかったですなあという思い出に残るような式典にしたいということ、また記念品も簡素なものにしたいということでございましたので、この趣旨を踏まえまして計画案を作っております。総務委員会の担当は、この中間報告書にございますように、来賓、庶務、広報記録、記念品、受付、とこの5つの事業を担当しております。

各担当の委員の方々におかれましては、リーダーの指示によりまして、ご協力をしていただきますよう、お願いを申し上げます。

[会計] 奥谷 弘和君

資料をご覧いただきますようにお願いします。収入としましては、500万円で予算を組みました。各委員会から出されました明細につきましてはここに書いてあるとおりで、これで予算を組みますと予備費30万円をとりまして500万円を使い切ると、こういう形でございます。なお、各委員会、例えば先ほどの総務委員会でいうと受付など予算の未定の部分がございますが、それらは予備費の中から充用するという形でいきますので、それぞれの委員会の方が立てられた予算の中で執行をしていただければ、私共は適正に支出をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

[記念誌委員会] 長田 豊治君

事業の内容の内、一つは45周年記念誌の発行でございます。

A4版のカラーで10ページ程度で120部発行しようと考えております。内容でございますが、記念式典のスナップ写真、集合写真、こういうものを掲載したいと思っています。

記念誌は4月から5月あたりに発行をしたいと思っております。もう一点は、50周年に向けてということでございますが、今までのいろんな資料を電子化しておきたいなあということで若干予算を割り増してそちらの作業も同時に進めていきたいということになります。

今回は印刷物として発行をいたします。よそのクラブですとデジタル化したCDで配布をされている所もございますけれども、今回45周年につきましては、アナログの印刷物で配布をしたいと考えております。

[慰靈祭] 森田 英治君

式典の前の例会日、3月17日（水）12時から妙福寺で物故会員の慰靈祭を開催する予定でございます。この日程は2月の理事会決議をいただいた後で直ちに皆さんに通知をいたします。

駐車場は妙福寺さんにお願いしまして一応確保をしていただく予定になっております。

当日は、例会場変更ですから食事は慰靈祭が終わった後でそこでとてていただくという事になります。

[式典委員会] 杉浦 成人君

式典次第の時間は午後3時から4時5分となっておりますが、これを1時間後へずらしまして、4時から5時ということで進めております。したがいまして、次第の方に細かい時間が書いてございますが、これも1時間ずつ全部ずれていくということになります。そして、次第中の6項目目の「物故会員を偲び黙祷」とございますが、これは先ほど発表がありましたように、事前に慰靈祭を行うため、ここで行うのは二重になるから辞めようということで実行委員会の方で結論が

出ましたのでこの行は消していただきたいと思います。

総合司会は小笠原良治さんが担当です。

「花束、感謝状、表彰状贈呈」の項目でございますが、ご覧のとおり、40周年にならい、またその後45周年という間の周ということで、色々実行委員会で検討した結果、お手元のようにまずスポーツセンタークラブに花束、そして初代会長に花束、チャーターメンバーに花束、直前5ヵ年の会長様には感謝状、そして30年以上の出席者に表彰状を贈るということでございます。そして、記念品代の内訳は、ここに書いてある通りでございます。

そして式典会場でございますけれども、これはグランドホテルの3階の部屋を全部使うので式典はエレベーターから遠い奥の方の部屋で行ないまして、エレベーターに近い方の部屋で懇親会を行なうという予定であります。

式典の方の国歌斉唱、それからロータリーソングの所は生でピアノ伴奏していただいて、あと、棒振りはなぜか私にと、どうも決まっておるようありますので、棒振りはやりますが、歌はソプラノ歌手が来ますので一緒に歌っていただくと、本当の意味でのソングリーダーをやっていただけるという予定であります。

[記念事業委員会] 池田 弘孝君

事業の内容でございますが、その前に記念事業について過去のをちょっと調べてみると、20周年位から彫刻と壁画が主流でございます。その作品が今も燐然と輝いております。改めて敬意を抱いたところでございます。今年度の45周年については諸般の事情もございまして、金額は100万円ということで抑えてスタートをさせていただきました。100万円でどういうものを記念事業としたらいいかということで思案しておりますところ、周年事業をやるクラブでは、財団と米山に寄付をお願いしたいということが聞こえてまいりました。早速協議をして、財団に20万円、米山に30万円ということを決めさせていただきました。

その他の事業としまして、碧南市民図書館にポルトガル語の原書を購入資金として50万円寄贈したいというふうに決めさせていただきました。これにつきましては、皆さんご承知だと思いますが、最近特に碧南市に在住される外国の方が増えてまいりまして、平成15年の3月現在で2400人余の外国の方が碧南に住んでみえます。その中で約1700人がブラジルの方だそうでございます。そして図書館を利用して借りられる方が年々倍増しておるようでございます。原書で色々なことを知りたいという方が非常に多くなってきておるということを聞きまして、本来は図書館としましては1,000冊位購入してあげなきゃいけないなあというところだそうです。

1000冊といいますと、約1冊3,000円位を想定しますと300万円位だそうです。それにつきまして、ロータリーとしましては、50万円ということで非常にやさしいですけれども、気持は十分こもっているということを申し上げ理解していただくなつもりでございます。その不足分は碧南市の方で予算化していただけるものと思っております。そんなわけで、財団に20万、米山に30万、計50万。そして碧南市民図書館に50万。合計100万ということを記念事業とさせていただきたいと思います。それにつきまして、記念式典の中で財団と米山に対する寄贈の目録をガバナーに贈呈し、碧南市民図書館への贈呈の目録としましては碧南市長にお渡しすると、そういう場を作っていただくということでございます。そういうことで、100万円という金額を使わせていただいて記念事業とさせていただきますことをご理解いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

[祝宴委員会] 黒田 昌司君

先程式典委員会の報告で予定時間が1時間繰り下がるということです、それで祝宴委員会の開

始時間を皆さんのお手元の資料では17時からということになっているのですが、17時半からということに変更をさせていただきたいと思います。

司会は副委員長の新美真司君が行います。流れとしましては開宴の言葉を実行委員長の永井先生、会長挨拶は加藤会長、お祝いの言葉は、式典の方でガバナー、市長さんにもやっていただきます。ガバナー補佐の榎原さんには祝賀会のほうで、お祝いの言葉を頂戴するということでございます。それから乾杯は、刈谷ロータリーの会長又は太田さんということになっておるのですが、太田さんが欠席の場合には刈谷ロータリーにスポンサーロータリーということで乾杯の音頭をとっていただきたいと思っています。それから懇談に入っていただきます。それで余興としましては、色々な演奏をこの中でBGM的にやっていただき、あまり表に出ない形でやっていただくということで杉浦委員長と了解を得ているということでございます。そしてロータリーソングの「手に手つないで」を大体終わりの15分位前にやりまして、万歳三唱を地区幹事さんにやっていただき、それから最後の閉宴の言葉を副実行委員長でございます長田さんにやっていただくということで予定をしております。

次回例会案内／1月28日（水）「私の履歴書」

会員 深世古裕治君